

陸奥湾蓬田村の漁業者とともに取り組むアマモ場の保全・造成活動

蓬田村漁業協同組合

蓬田村

八戸工業大学

志田内海株式会社

プロジェクトの概要

【フィールド：青森県東津軽郡蓬田村(青森市の北どなり)】

津軽半島の陸奥湾沿岸にあり、中山山脈から流れる四本の川が美田と養殖ホタテを育む、自然豊かで四季の楽しみが尽きない地域です。

【活動内容】

蓬田村漁協は20年前から水深7m以浅を禁漁区とし、ナマコ桁曳操業を禁止し、アマモ場生態系を保全してきました。

また、高水温被害を受ける若いホタテ養殖漁業者が、地球温暖化対策を念頭に県や村、漁協、大学、地元企業と連携し、陸上水槽でのスゲアマモの種苗生産や禁漁区への移植などアマモ場づくりに取り組みました。

【認証期間中(2024年10月から1年間)の成果】

潜水調査から、禁漁区に約13.7haの濃密なアマモ場が確認できました。禁漁直後に行われた潜水調査や禁漁区周辺の桁曳漁場にはアマモの小群落しか見られなかったことから、プロジェクトによるアマモ場の保全・造成効果が明らかとなり、54.8 CO₂-トンのJブルークレジット®が認証されました。

プロジェクトの特徴・PRポイント

【漁業者とのパートナーシップで取り組む温暖化対策】

高水温被害に直面するホタテ養殖漁業者が中心となって、行政、大学、地元企業など地域が一体となって取り組む地球温暖化対策！

【アマモ場づくりのモデル】

漁協による禁漁区設定を陸奥湾のアマモ場保護・回復のモデルに！

